

だいにぎ議会だより



こんにゃくの収穫風景

- 一般会計補正予算、審議された議案…………… (2) ~ (3)
- 一般質問 (5人が登壇し、町政を問う) …………… (4) ~ (8)
- 中央要望、町内現地視察、請願…………… (9)
- 人事、あとなぎ、その他…………… (10)

No.
160
平成22年
1月14日

全議案原案可決

平成21年
第4回定例会

一般会計補正予算の主なもの（第6号）

歳入	補正額
使用料及び手数料	366万6千円
国庫支出金	43,258万2千円
県支出金	△1,383万6千円
繰越金	31,322万8千円

歳出	補正額
地域情報通信基盤整備事業	48,400万円
辺地共聴施設整備事業補助金	658万円
国民健康保険事業特別会計繰出金	△2,165万9千円
浄化槽整備事業特別会計繰出金	△578万8千円
財政調整基金積立金	20,000万円
減債基金積立金	10,000万円
子育て応援特別手当給付事業	△1,346万6千円
農道改良工事	600万円

平成21年度一般会計補正

予算（第6号）の主な歳入

7億8893万1千円の増額

一般会計補正予算

平成21年第4回定例会が、12月2日から10日までの9日間の会期で開かれました。
条例の改正、平成21年度一般会計・特別会計補正予算・人事案件など、町長から提出された議案57件と、議員提出議案2件を審議し原案どおり可決されました。さらに、常任委員会審査報告3件がありました。
一般質問には5人の議員が登壇し、町政に対しての質問、答弁が展開されました。

歳出は、表のとおりですが、補正後の予算総額は、歳入歳出それぞれ99億7670万7千円となりました。
その他に、国民健康保険事業特別会計5075万5千円の増、介護保険特別会計予算組み替え（総額に変更なし）、浄化槽整備事業特別会計4045万6千円の減額、水道事業会計債務負担行為の設定の補正がありました。

第四回定例会

行政報告

定額給付金について

10月30日定額給付金支払を完了しました。給付実績は、7786世帯、2万1339人、3億3902万8千円です。未申請や辞退が62世帯、海外への転出や死亡等により給付できなかったのが31世帯でした。給付率は、99・58%です。
つくば市との地球温暖化対策等の連携に関する協定の締結について

11月17日「つくば市と大

子町との地球温暖化対策等のための連携に関する協定」を締結しました。
つくば市の事業で排出される二酸化炭素（CO₂）を本町の森林で吸収し、相殺する「カーボンオフセット」を実施するもので、大字浅川地区の町有林約43haを「つくばの森」として設定し、つくば市の事業で得た収益の一部を森林整備の経費に充てるものです。

今後は、双方の特性を活かした各種交流事業が、町の活性化に大きな役割を果たしていくものと期待しています。

余暇活用センターやみぞ施設等譲渡に係る協定書の締結について

11月30日付けで茨城県、（財）茨城県勤労者余暇活用事業団及び大子町の三者により「施設移管に係る三者協定」を締結しました。

主な協定事項は、①土地及び建物等は無償譲渡する。②施設改修費の財源確保は県が行う。③従業員の再雇用は最大限配慮する等です。

詳細については、今後、協議を進めます。

運営は、平成22年12月までは、現在の（財）茨城県勤労者余暇活用事業団が行い、それ以降は、町が指定管理者を選定して行います。

袋田の滝観瀑事務所及び女性専用トイレの竣工について

袋田の滝観瀑事務所及び女性専用トイレの新設工事を行っておりましたが、それぞれ完成し、使用を開始しました。トイレの流水不足については、受水層の増設により解消しました。

グリーンライン林道北吉沢下野宮線の竣工について

茨城県が事業主体となり平成8年度から工事に着手しましたが、このほど、竣工しました。
事業規模は、延長が3944・7m、総事業費2億363万円であり、当時の負担率は30%です。



提出議案等と審議結果

議案番号	議案名	結果
第80号	大子町文化福祉会館の設置及び管理に関する条例	原案可決
第81号	大子町行政財産使用料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決
第82号	財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
第83号	大子町子育て支援住宅条例の一部を改正する条例	原案可決
第84号	第5次大子町総合計画基本構想について	原案可決
第85号	町道路線の認定について	原案可決
第86号～第130号	双方代理による契約の追認について	原案可決
第131号	大子町固定資産評価審査委員会委員の選任について	原案同意
第132号	平成21年度大子町一般会計補正予算（第6号）	原案可決
第133号	平成21年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
第134号	平成21年度大子町介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
第135号	平成21年度大子町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
第136号	平成21年度大子町水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議員提出 議案第5号	改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書	原案可決
議員提出 議案第6号	教育予算の拡充を求める意見書	原案可決

第2回臨時会提出議案等と審議結果

議案番号	議案名	結果
報告6号	損害賠償の額決定の専決処分の報告について	報告済
第76号	平成21年度大子町一般会計補正予算（第4号）の専決処分の承認を 求めることについて	原案承認
第77号	大子町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決
第78号	学校給食センター調理用備品の取得について	原案可決
第79号	平成21年度大子町一般会計補正予算（第5号）	原案可決

※第2回臨時議会は、11月26日開催されました。

条例改正等の 説明

大子町文化福祉会館の設置及び管理に関する条例
大子町文化福祉会館の設置及び管理に関し、必要な事項を定める。

大子町行政財産使用料徴収条例の一部を改正する条例
土地の使用許可に係る使用料に関し、その算定の明確化を図る。

財産の交換、譲与、無償貸付等に関する条例の一部を改正する条例
地方自治法改正に伴う改正。

大子町子育て支援住宅条例の一部を改正する条例
袋田駅前の町営住宅を子育て支援住宅として位置付ける。

大子町職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例
人事院勧告による改正。

文化福祉会館の建設工事について

吉成好信 議員



問 大子町文化福祉会館建



建設中の大子町文化福祉会館

設工事で、契約内容（入札）は、鉄筋コンクリート造2階建て一部木造2階建てであり、許可申請書（10月3日）は、鉄筋コンクリート造一部鉄骨造一部木造である。契約内容と許可申請書

の相違はなぜなのか。

また、日照権問題や電波障害等はないのか。

答 町長

当初の契約時の設計概要

は鉄筋コンクリート造り2階建て一部木造2階建てと表記してあったが、都市計画道路の関係で駅前道路の中心線から10mの距離内に

は、鉄骨または木造以外は建築できないということがあり、指摘のような矛盾があったが、現在は契約内容、建築確認申請内容と整合した変更契約を行っているので内容に相違はない。

日照権は、基準の許容範囲内。電波障害は、4軒のアンテナ移設補償をした。

大子中学校の耐震診断の結果をふまえての対応は

結果をふまえての対応は

問 耐震工事を始めるにあたって学校や父兄の皆さんに早く状況等を知らせるべきではないか。

耐震補強及び大規模改造

等に伴う設計はいつ頃になるのか。工事費はどのくらいなのか。工事開始時期の予定は。

答 町長

耐震補償に関する大規模改修等の設計は現在実施中で工法はブレース工法を予定している。建設費は校舎A棟、B棟、体育館で約10億円前後が見込まれる。臨時交付金が21年度限りの交付金であるため今年度中に契約発注する。

光ファイバーによる通信基盤の整備

通信基盤の整備

問 町が光ファイバーを敷設し通信事業者に貸し出して超高速ブロードバンドの提供を行い町全体9千回線の約60%をカバーできると

いうが、サービス提供開始に伴いテレワークを始め地域情報発信や行政サービスの向上につながるので早期に事業完成すべきである。

①通信事業者はどこか。②整備対象地域は。③提供開始時期は。④募集件数は。⑤料金設定は。

答 町長

①事業は国庫補助事業の地域情報通信基盤整備推進交付金を活用して、光ファイバーの基幹部分を町が整備し、その施設を通信事業者に長期的に貸付、メンテナンスを含めた運用を業者が行う。

②整備対象地域は旧大子地区、宮川地区、袋田地区の全域及び大字頭藤、西金、盛金地区である。

③23年3月頃開始予定。

④大子町ブロードバンド誘致委員会への仮申し込みは400件。今後整備が進めば600件は確保できる。

⑤利用料金は月6500円弱。

その他の質問

○新年度予算について

○町有財産貸付の不公平について

○職員の懲戒処分について

厳しさが続く雇用問題について

佐藤 正弘 議員



問 世界経済危機から1年が経過したが、雇用問題は依然厳しい状況にある。現状と対策はどのようなになっているのか。また、過疎化や人口減の要因は、働く場がないからではないか。公約に掲げる「職場の確保」

少子高齢化対策について

問 小・中学生の給食費の無料化は全国の自治体の先進的な取り組みであり評価したい。

中学校卒業までの医療費の無料化は、全国的に進められており、「子育て支援日本一の町」を掲げるなら来年度の重要な施策でないのか。同時に、高齢者が「住んでいて良かった。」「長生

と「子育て支援」は両輪ではないのか。

答 町長

雇用情勢は、依然として厳しいことは重々承知している。公約に掲げる、職場の確保と子育て支援は「両輪」と認識している。しかしながら、現状では企業誘致は困難な状況にある。町内に住んで、町外で働くという環境整備に力を入れていく。

きして良かった。」と言える高齢者福祉制度の充実が求められているのではないのか。

答 町長

県が検討している小学3年生までの支援では、必ずしも十分とはいえない。町独自の施策として中学生までの医療費の無料化について検討する必要があるのでは



沿道美化に取り組む児童たち

はないかと考えている。高齢者対策は十分ではないという意見があるのは重々承知している。町の財政

政事情に見合った中である程度充実していると認識している。今後も高齢者福祉、医療の向上に努めていく。

双方代理による契約について

問 今議会に提案された

「双方代理による契約の追

認」の案件は45案に及び、その中で、現在も契約期間内の案件は6契約ある。そもそも双方代理契約は、法律上原則として許されないとされている。町長が幾つもの団体の長を兼任していることで起こった問題である。議会の追認は町に汚点を残す。契約に至った経緯、原因、今後の方針を明らかにすべきである。

答 町長

民法108条で規制されていることは承知している。過去の誤りを正すために今回の提案に至った。このような事案が発生したことは誠に遺憾であり、今後十分注意する。町長がそれぞれの団体の代表を辞めればいいのではないかという指摘もあったが、現在は職務代理者を置いているので問題が発生しない体制ができていく。

その他の質問

- 新型インフルエンザをめぐる現状と対策について
- 防災関係について

会館オープンにより商店街の活性化を

大森 勝夫 議員



問 大子町文化福祉会館が22年4月にオープン予定である。文化的な活動の場や感動を体感できる機会を提供し、町民に心の充実を与えることが施設の命題であると思う。駅に近く商店街の中心部という立地を活かすため、町内在住の著名な陶芸家などと関連を持たせることはできないか。

答 愛好者が町外からも訪れ、商店街の活性化と水郡線の利用促進が期待できるのではないかと。運営計画と合わせて質問する。

答 町長 施設にはロビーを兼ねた観光交流コーナーが設置されるので、工芸品などを展示して特産品の販路拡大と観光客の誘致を図りたい。

町内の陶芸家の作品の展示スペースなどの計画もあり、どのようにすべきか検討中である。施設の運営については指定管理者制度の



工事が進むふくろだ駅前住宅

問 袋田駅前に子育て支援の町営住宅が完成予定である。駅にも近いので通勤に便利な物件である。大子町

導入を考えている。現在のところ管理団体は社会福祉

若者が帰郷実現への

入居勧誘を

出身の若者の情報を、親などからいただき、入居を勧め大子町に帰郷してもらえようとする努力は実施するのか。入居募集の方針を聞きたい。

答 町長

入居者の募集に関しては、町民にはお知らせ版での周知を、町外に住んでい

協議会が適当ではないかと想定している。

第5次総合計画の雇用対策の考えは

問 第5次総合計画の基本構想が示された。今後の町のためには、働く場所の確保は最重要課題だと思ふ。個人商店や事業所を守る対策などはどのように考えているか。大学やつくば市との交流などから、若者の嗜好研究や経営のアイデア提供、顧客になつてもらったための情報提供や交流などができないか。

答 町長

る方には、町のホームページや新聞の活用などを計画している。子育て世代を優先的に選考したいが、条件が同じで応募多数の場合は抽選など公平な方法になる。また、町民の皆さんの家族や知り合いのなかで、町外に住んでいる該当者がいたならば、大子町では子育て支援住宅も整備し、給食費も無料になるので、ぜひ大子に帰って住んでもらいたいと声をかけてほしい。

アイデアの提供も地元事業所への支援ではないかという提案のなかで、アイデアを生かせる人材の育成も重要だと思ふ。そこで筑波大学との連携の中に、人材育成を入れてある。意見教授を中心に商工塾を開催し、若手経営者や高校生もまじえて講義を開催している。今後も引き続き実施していければと思ふ。

久慈川周辺の有効活用の推進を

金澤 真人 議員



問 ①県の内水面試験場の事業で放流した鮎の成育状況と来年以降の放流予定は。

②余暇活用センター「やみぞ」が久慈町に譲渡されるがその条件は、また「やみぞ」を利用して久慈川を活用する方策はあるか。
③道の駅前面の久慈川岸辺の利用は町にとって重要と思うが、整備予定はあるか。
④久慈川を利用したイベントなどへの、柔軟な受け入れ態勢が必要と思うが。

大子町文化福祉会館の

利用促進は

問 大子町文化福祉会館が22年4月に竣工となるが、①駐車場が少ないと思う

が、他に確保しているのか。
②駐車場は買い物客等に開放するのか。

答 町長
①順調な生育状況が確認され縄張り形成能力も高いと評価された。来年も漁協と協議し久慈川本支流への放流を県へ働きかける。
②土地・建物は県より無償譲渡、施設改修は県の財源で行う。経営は町が主体で10年以上行う。従業員の再雇用に最大限配慮する等が主な内容で詳細は協議を重ねていく。
③やみぞ周辺から下流は県の整備構想もあり、道の駅前面の河原整備と共に県へ要請する。
④漁協など関係団体とも連携をとりながら積極的な情報提供や各種イベントの誘致を図っていく。

③町民が気軽に作品を展示したり鑑賞したりできるスペースを造るべきと思うが。

答 町長
①近くの町有地や休日には役場の駐車場も利用して対応

大学や他市との連携で

町の活性化を

問 ①東京理科大学が二高跡地を大規模改修し8月か

ら利用開始したが、利用状況は。

する。
②施設利用者を優先に考えるが、一般使用を禁止することはしない。
③1階2階に作品を展示できるスペースの整備を考えている。

答 町長
①8月から11月までに延べ992人が利用、施設、環境、食事共に学生の評価は高い。
②将来の元氣担い手事業、学力向上、小・中連携教育推進事業、健康作り促進事業、特産品の成分分析及びPR、事務事業見直し等の事業に対して指導、協力など大きな役割を果たした。
③カーボンオフセット事業を実施するもので、町有林の一部を「つくばの森」とし、つくば市の事業で得た収益の一部を森林整備に活用するもの。
④提携条件が合えば推進する。



東京理科大学大子研修センター

その他の質問

○公共投資臨時交付金などの利用事業について
○産業廃棄物処分場について

行財政改革とIT環境整備とは

野内 健一 議員



問 本町の行政事業におけるITの環境整備、もしくは投資というのは、ここ10年くらいを見た場合どのよう
に推移しているのか。またIT関連の支出は今後の予算を逼迫させる要因になりはしないか。

ITの利用は、業務の効率化や合理化、より高い住民サービスの質的向上の実現には必要不可欠ではあるが、ITシステムの維持管理費用は、どのくらいかかっているのか。また、どのくらいのコストが適正と思うか。

システムの見直しやソフトの機能追加等に、職員はどのくらいまで関わるようになって
いるのか。

「使用料等収納管理シス

テム」の導入は、職員の改善提案によるものか。または特定の部署が実施した見直しによる改善の結果か。

答 町長

IT環境の維持管理コストは、機械のリース代も含めて平成20年度の総支出額は約1億1千万円ほどである。このコストは、県内44市町村のうち、33番目であり、高いコストがかかっているとは思っていない。契

国道118号線沿いに簡易トイレ設置を

問 今年の紅葉シーズンも国道118号線が渋滞した。トイレを求めて観光バスが脇道やJR上小川駅等に臨時駐車しているのが見られたが、今後の改善策として、滝の駐車場へ到着するまでの段階で、臨時のトイレ休憩所を設営できないか。

答 町長

今年も、11月の土・日曜

約の締結に当たっては適正な人札執行を行っている。住民記録関連、税関連、内部事務系の各システムの大部分が、市販の汎用コンピュータシステムを使用しているため、不具合等の発生率は極めて低い。ソフトウェアは既製品を使用しているため改変権契約はしていない。

新使用料等収納管理システムの導入は、使用料等の賦課徴収事務の効率化を図ろうと、税務課の収納対策室が中心となり研究してきたもので、職員の業務改善提案から実現するもの。

日を中心に大変な混雑の状況であった。国道118号線沿いの臨時休憩所、トイレの設置問題だが、観光地としては、これらの対応が大変重要であると思うが、設置場所や管理面で制約もあるので大変難しい。既存のドライブイン等を利用願いたい。また、計画的にトイレが

その他の質問

○光ファイバーによる情報

利用できるよう旅行代理店等へ施設情報を提供する。

○通信基盤の整備について
○国事業の事業仕分けにおける町の影響は



IT環境整備による住民サービス

新過疎法制定促進 総決起大会開催される

11月4日、過疎地域自立促進特別措置法の平成22年3月末失効を控え、「新たな過疎対策法」の早期実現をめざし、新過疎法制定促進総決起大会が東京都九段会館で開催されました。

過疎地域自立促進特別措置法により総合的な過疎対策事業が実施され、生活環境の整備や産業の振興など一定の成果を上げてきましたが、過疎地域の安心、安全な暮らしを守っていくには、引き続き



新過疎法制定促進総決起大会

総合的かつ積極的な支援が必要です。

大子町からは綿引町長、佐川副議長、担当職員が参加しました。大会終了後その実現にむけ本県選出国会議員へ要望を行いました。

榎野地釜の口を視察

12月10日定例会終了後、議員と執行部共に榎野地内の釜の口の現地視察を

実施しました。この釜の口は、大子おやき学校の南側約2kmに位置し、林道岩崎

線が通じています。林道沿いには、釜の口を水源とする沢が流れており水量も多く、案内をいただいた榎野地区長の小泉さんの話では、カジカが生息しているとのことでした。

町内に数ある沢にあっても特に水質、水量、環境、の素晴らしい沢であると感じて帰ってきました。

町民の一人として、このような自然環境を次世代の子供達に残さなければ

ばと痛感しました。
(産業建設委員長金澤真人)



榎野地釜の口

国道461号の整備促進を要望

国道461号整備促進期成同盟会では11月18日大子バイパス及び水府、里美拡幅、さらには未改良区間の整備促進をめぐり国土交通省及び本県選出国会議員へ要望書を提出した。

大子町からは佐川副議長、建設課担当職員が参加しました。



国土交通省谷回事務次官へ要望

あなたが出された請願は

付託委員会	件名	請願者	結果
総務委員会	気候保護法(仮称)の制定を求める請願	大子町大字池田2364-5 新日本婦人の会 大子班長 益子絹枝	不採択
総務委員会	改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書を政府等に提出することを求める請願	水戸市梅香2-1-39 (社)茨城県労働者福祉協議会 会長 児島 強	採 択
文教厚生委員会	教育予算の拡充を求める請願	水戸市笠原町978-46 茨城県教職員組合 執行委員長 高野富三男	採 択

採択された請願は、地方自治法第99条の規定により国会または関係省庁に意見書を提出しました。

佐川利夫副議長逝去



故佐川利夫副議長

佐川利夫副議長（高栄・享年71歳）が、去る12月16日急逝されました。

佐川副議長は、平成8年3月大子町議会議員に初当選以来、4期・13年10カ月にわたり地方自治の進展に大きな功績をなされました。この間、大子町監査委員、産業建設委員会委員長、議

会運営委員会委員長を歴任され、平成20年4月には第27代副議長に就任され常に議員のリーダーとして活躍をされました。

優れた識見と円熟した人柄は、人々から尊敬され、事を運ぶにあたっては、常に貴重な役割を果たされてきただけに惜しまれます。

ここに、佐川副議長の往時をしのび、議員としてのご活躍に対し心から敬意を申し上げ、謹んでご冥福をお祈りいたします。

平成22年 第1回定例会会期日程（予定）

月日	曜日	会議	付記
3月3日	水	本会議	開会
3月4日	木	休会	自宅審議
3月5日	金	休会	自宅審議
3月6日	土	休会	自宅審議
3月7日	日	休会	自宅審議
3月8日	月	本会議	一般質問
3月9日	火	本会議	一般質問
3月10日	水	休会	自宅審議
3月11日	木	本会議	逐条審議
3月12日	金	本会議	逐条審議、閉会

※日程等についての詳しいお問い合わせは、議会事務局までお願いします。（☎72-1115）

八溝山頂へ

ニッコウキスゲを植栽



11月初旬、4名の議員、町職員、植物愛好家など十数名が参加し、八溝嶺神社の役員さんの協力を得て山頂付近にニッコウキスゲを約千本程度植栽しました。

八溝山は豊かな自然林がいっぱいで、いつも清々しい気分になさせてくれます。東は阿武隈山脈、西に那須山を望み、天候や時間によって

は遠く富士山も眺望できます。しかし、この山には何かが足りないと感じていました。

そこで寒さに強く自然と共生できるニッコウキスゲの植栽を考えました。開花までに2〜3年を要するかと思いますが大事



ニッコウキスゲ植栽（八溝山頂）

に育てていきます。

これからも自然環境を守りつつ、植栽していく予定です。久慈川の水源でもある八溝山を訪れた方々を「花」いっぱいでおもてなしができればと思います。本事業にご指導くださいました植物研究家の皆さんに感謝を申し上げます。

（広報委員 鈴木陸郎）

固定資産評価審査委員 益子一雄氏（再任）



大子町固定資産評価審査委員会委員に、益子一雄氏（64歳（頃藤3810番地）を再任（再任）することに同意しました。任期は平成21年12月26日から3年です。

大子町議会 広報委員会

- 委員長 藤田友晴
 - 副委員長 佐藤正弘
 - 委員 大森勝夫
 - 委員 齋藤忠一
 - 委員 鈴木陸郎
 - 委員 藤田稔
 - 委員 藤田健
 - 委員 益子英明
- 今回の表紙
こんやくは、大子町の特産物です。

（藤田友晴議員 撮影）

あとがき

先日、八溝山でニッコウキスゲ植栽ボランティア活動に参加しました。この、自然豊かな八溝山で元気に育ち、早く美しい顔を見せてもらいたいです。しかし、一方で道路沿いのゴミ捨てに心を痛めます。

私の住む地区の小学校では、終業式後に児童たちが道路沿いのゴミ拾いをします。栃木県境付近では児童たちに触れさせたくないゴミが沢山捨てられています。このゴミを見て児童たちは何を思うでしょうか。捨てた人たちは児童たちの心の痛みに気付いたでしょうか。

第5次大子町総合計画では「住みよいまち」「活力あるまち」「美しいまち」の三つの町づくり目標が掲げられます。町議会・町民が一丸となり魅力ある町づくりが出来るらと思えます。

（広報委員 藤田友晴）